

観光立国実現は地方から推進を

旅館経営と観光地の“いま”と“これから”

旅館経営と観光地の現状

観光は21世紀の基幹産業と言われる中、景気の低迷や消費者の志向の変化で多くの旅館・ホテルが苦境に立たされている。混迷の時代に、旅館・ホテルはどう生き抜いていくべきか。観光地づくりのあるべき姿は、先進的な旅館・ホテル経営に取り組み業界の「トップランナー」5氏にお集まりいただき、語ってもらった。(東京の観光経済新聞社第2会議室で)

宿の魅力で地域を売る 官民一体で街並み整備

「国会 全国の旅館が苦戦している。それぞれの地域と宿の現状を聞かせてほしい。齊藤 確かに全国的に苦戦している。私も旅館に入って37年経つが、今は本当にきつい時代だ。パル崩壊の時もそうだったが、リーマンショック以降もさらに厳しくなっている。お客さまの志向が変化している。団体から個人へ、形態が変わってきている。ただ、旅館の方は今までの営業スタイルを依然、続けている。行政に頼りすぎている。この地域に観光客が来ないのは、観光業が一所懸命やらないから」という発想。温泉を掘ればいいのか、共同浴場を作ればいいのか、そういうハードを行政に要求して、それも結局全国どこにもあるもので、運営もうまくできない。自分たちの旅館の魅力で地域を売る、という発想がない。

「行政の指止めと呼び掛けでも、あまり止まってこない。私たちの子も世代は、親を見ていながら、あまり無茶なことはしない。何億と借りるのを嫌がる。「親父の時

のように、景気のいい時代はもう来ない」と言う。私は「そんなことはない」と言っている。土地や建物を買っているのだが、買ったものをラフにしようという発想がない。

「伊豆の旅館を買ったそうだが、経営はどうか。齊藤 それは行っている。ただ、以前のお客さまが黙っていても付いてくるというのは大間違いで、対価に見合うだけの価値をしっかりと提供しなければ支持していただけない。

「新谷 私のところの高山は、皆さんから恵まれている。よく言われるが、2010年度は前年度より若干、入り込みが落ちているから、中部の方はどうしても厳しくなっている。高山は外国人観光客がよく来る。高山は外国人観光客がよく来る。高山は外国人観光客がよく来る。高山は外国人観光客がよく来る。

「新谷 会社としては旅館と別法人になっているが、昭和63年の開所以来23年、何と目標とするところは達成している。以前は9割がバス、1割がマイカーのお客さまだった。現状は6割がマイカー。団体のお客さまももちろんあるが、個人旅行形態が大きく変化している。個人旅行が中心となりつつある。また滞在時間の比較的長い傾向もあり、私どもにとってはビジネスチャンスにもなっている。今はインターネットという新たなチャネルの情報発信を強化しているが、個人客の動きは非常に底堅くお客さまの数がふれ



浅野氏

「伊藤 蔵王温泉でおおみやげ、蔵王四季のホテル、蔵王国際ホテルという3軒を経営している。いずれにしても、この2、3年は本当に一所懸命努力して

「新谷 4軒の営業は、全盛期の4分の1くらいに減ってしまっている。グリーンシーズンはほぼ横ばいだが、スキーシーズンは大変な状況だ。この地域も同じだが、この10年で受け入れ施設の売り上げの格差が広がっている。3軒の旅館の性格がそれぞれ異なるのだが、

「浅野 奇策はないが、いろいろ試している。ひとつは泊食分離。私どもが料亭が結構あり、名物のシャケを出している。有名な中華料理店もある。この業界で習慣がなく、導入はなかなか難しいが、小出しにして試しており、反応も少しずつ出ている。

「伊藤 私、金融機関から指導をいただかなくていいくらいに経営(経営の自立)を目指したい。これは何とかならう。私の頭では7年くらいかかると思っていたが、景気がこのような状態で、売り上げもあまり上がらなかった。そこに至るまでは、実際は10年以上要した。ただ、それはあくまでも現状であって、これからの保証は何もない。営業環境もずいぶん変わってきている。気を引き締め、臨みたいと思う。

「新谷 私は今、55歳。64歳までの9年間は新規投資で新しい返済計画になる。この9年間、まだ体力のあるうち、ラストスパートをかける思いである。景気のこと、私が親しくさせていたという日本政策投資銀行の方が「デフレの正体は日本の構造変化、人口の動態変化だ。日本経済が成長という路線を描くことは難しい」と話していた。そのような中で、うちのような規模の大きい旅館をどう回していくか。極めて厳しいところがある。

「浅野 奇策はないが、いろいろ試している。ひとつは泊食分離。私どもが料亭が結構あり、名物のシャケを出している。有名な中華料理店もある。この業界で習慣がなく、導入はなかなか難しいが、小出しにして試しており、反応も少しずつ出ている。

「伊藤 私、金融機関から指導をいただかなくていいくらいに経営(経営の自立)を目指したい。これは何とかならう。私の頭では7年くらいかかると思っていたが、景気がこのような状態で、売り上げもあまり上がらなかった。そこに至るまでは、実際は10年以上要した。ただ、それはあくまでも現状であって、これからの保証は何もない。営業環境もずいぶん変わってきている。気を引き締め、臨みたいと思う。

「新谷 私は今、55歳。64歳までの9年間は新規投資で新しい返済計画になる。この9年間、まだ体力のあるうち、ラストスパートをかける思いである。景気のこと、私が親しくさせていたという日本政策投資銀行の方が「デフレの正体は日本の構造変化、人口の動態変化だ。日本経済が成長という路線を描くことは難しい」と話していた。そのような中で、うちのような規模の大きい旅館をどう回していくか。極めて厳しいところがある。

「私たちが地域の現状も厳しい。昔私が地域の青年部員だった頃は、部員が互いに切磋琢磨していた。情報交換もした。隣が旅館を作ったから負けたくない、設備投資やサービスの向上に努めた。今の人は組織の使い方をあまり知らない。地域ぐるみという発想も希薄になっているのではないかと

「新谷 全国的に、スキー客が減っている。全国的に、スキー客が減っている。全国的に、スキー客が減っている。全国的に、スキー客が減っている。

「浅野 奇策はないが、いろいろ試している。ひとつは泊食分離。私どもが料亭が結構あり、名物のシャケを出している。有名な中華料理店もある。この業界で習慣がなく、導入はなかなか難しいが、小出しにして試しており、反応も少しずつ出ている。

「伊藤 私、金融機関から指導をいただかなくていいくらいに経営(経営の自立)を目指したい。これは何とかならう。私の頭では7年くらいかかると思っていたが、景気がこのような状態で、売り上げもあまり上がらなかった。そこに至るまでは、実際は10年以上要した。ただ、それはあくまでも現状であって、これからの保証は何もない。営業環境もずいぶん変わってきている。気を引き締め、臨みたいと思う。

「新谷 私は今、55歳。64歳までの9年間は新規投資で新しい返済計画になる。この9年間、まだ体力のあるうち、ラストスパートをかける思いである。景気のこと、私が親しくさせていたという日本政策投資銀行の方が「デフレの正体は日本の構造変化、人口の動態変化だ。日本経済が成長という路線を描くことは難しい」と話していた。そのような中で、うちのような規模の大きい旅館をどう回していくか。極めて厳しいところがある。

「浅野 奇策はないが、いろいろ試している。ひとつは泊食分離。私どもが料亭が結構あり、名物のシャケを出している。有名な中華料理店もある。この業界で習慣がなく、導入はなかなか難しいが、小出しにして試しており、反応も少しずつ出ている。

「伊藤 私、金融機関から指導をいただかなくていいくらいに経営(経営の自立)を目指したい。これは何とかならう。私の頭では7年くらいかかると思っていたが、景気がこのような状態で、売り上げもあまり上がらなかった。そこに至るまでは、実際は10年以上要した。ただ、それはあくまでも現状であって、これからの保証は何もない。営業環境もずいぶん変わってきている。気を引き締め、臨みたいと思う。

「新谷 私は今、55歳。64歳までの9年間は新規投資で新しい返済計画になる。この9年間、まだ体力のあるうち、ラストスパートをかける思いである。景気のこと、私が親しくさせていたという日本政策投資銀行の方が「デフレの正体は日本の構造変化、人口の動態変化だ。日本経済が成長という路線を描くことは難しい」と話していた。そのような中で、うちのような規模の大きい旅館をどう回していくか。極めて厳しいところがある。

「浅野 奇策はないが、いろいろ試している。ひとつは泊食分離。私どもが料亭が結構あり、名物のシャケを出している。有名な中華料理店もある。この業界で習慣がなく、導入はなかなか難しいが、小出しにして試しており、反応も少しずつ出ている。



齊藤氏

「私たちが地域の現状も厳しい。昔私が地域の青年部員だった頃は、部員が互いに切磋琢磨していた。情報交換もした。隣が旅館を作ったから負けたくない、設備投資やサービスの向上に努めた。今の人は組織の使い方をあまり知らない。地域ぐるみという発想も希薄になっているのではないかと

「新谷 全国的に、スキー客が減っている。全国的に、スキー客が減っている。全国的に、スキー客が減っている。全国的に、スキー客が減っている。

「浅野 奇策はないが、いろいろ試している。ひとつは泊食分離。私どもが料亭が結構あり、名物のシャケを出している。有名な中華料理店もある。この業界で習慣がなく、導入はなかなか難しいが、小出しにして試しており、反応も少しずつ出ている。

「伊藤 私、金融機関から指導をいただかなくていいくらいに経営(経営の自立)を目指したい。これは何とかならう。私の頭では7年くらいかかると思っていたが、景気がこのような状態で、売り上げもあまり上がらなかった。そこに至るまでは、実際は10年以上要した。ただ、それはあくまでも現状であって、これからの保証は何もない。営業環境もずいぶん変わってきている。気を引き締め、臨みたいと思う。

「新谷 私は今、55歳。64歳までの9年間は新規投資で新しい返済計画になる。この9年間、まだ体力のあるうち、ラストスパートをかける思いである。景気のこと、私が親しくさせていたという日本政策投資銀行の方が「デフレの正体は日本の構造変化、人口の動態変化だ。日本経済が成長という路線を描くことは難しい」と話していた。そのような中で、うちのような規模の大きい旅館をどう回していくか。極めて厳しいところがある。

「浅野 奇策はないが、いろいろ試している。ひとつは泊食分離。私どもが料亭が結構あり、名物のシャケを出している。有名な中華料理店もある。この業界で習慣がなく、導入はなかなか難しいが、小出しにして試しており、反応も少しずつ出ている。

「伊藤 私、金融機関から指導をいただかなくていいくらいに経営(経営の自立)を目指したい。これは何とかならう。私の頭では7年くらいかかると思っていたが、景気がこのような状態で、売り上げもあまり上がらなかった。そこに至るまでは、実際は10年以上要した。ただ、それはあくまでも現状であって、これからの保証は何もない。営業環境もずいぶん変わってきている。気を引き締め、臨みたいと思う。

「新谷 私は今、55歳。64歳までの9年間は新規投資で新しい返済計画になる。この9年間、まだ体力のあるうち、ラストスパートをかける思いである。景気のこと、私が親しくさせていたという日本政策投資銀行の方が「デフレの正体は日本の構造変化、人口の動態変化だ。日本経済が成長という路線を描くことは難しい」と話していた。そのような中で、うちのような規模の大きい旅館をどう回していくか。極めて厳しいところがある。

謹賀新年

平成二十三年 元旦

くつろぐ人の、いるところ

一日のスケジュールを終え、ホッと息を抜くひととき。ひとりひとりのくつろぎの時間がはじまります。私たちが、お客様ににおどけたいのは、そんなゆとりのある時間。ビューホテルはいつも、お客様にゆったりとおくつろぎいただくための心くばりを忘れません。

くつろぎは、まごころから。

ビューホテルズ

ビューホテルズは、ただいま16ホテル。

ビューホテルズは、国際規模のシティホテルからリゾートまで、国内に16のチェーンホテルを繰り広げています。各地の魅力を活かしたホテルで、ごゆっくりおくつろぎください。

観光立国実現は地方から推進を

新春特別 座談会

混迷の時代をいかに生き抜くか



新時代の旅館経営はどうあるべきか―意見を交わす各氏

観光は21世紀の有望産業とされる。これからの観光と旅館経営について、どうあるべきか。
齊藤 日本は最高だ。こんな安心、安全な国はない。食べ物も安心、安全で、メイド・イン・ジャパンは世界に通じる。一度生まれ変わるという。

新時代の 旅館経営とは

新 滝 私は15年前から自分の宿の経営改善を行ってきた。ある程度やっていける自信もついていたが、リーマンショックの時には強い危機感を覚えた。財務面もさうだが、自館の商売力について、見つめ直してみよう。やるべきことは結構ある。もう一度生まれ変わるという。

出席者(順不同)

山形県・蔵王温泉 蔵王国際ホテル社長 伊藤八右衛門氏
新潟県・瀬波温泉 夕映えの宿 汐美社社長 浅野 謙一氏
長野県・厚温泉 明神館社長 齊藤 茂行氏
岐阜県・飛騨高山温泉 高山グリーンホテル社長 新谷 尚樹氏
石川県・山代温泉 ゆのくに天祥事務 新滝 英樹氏

司会 本社社長・江口恒明

大げさだが、そういうことも必要だと思ふ。
ただ、大なり小なり誰でもそうだが、切羽詰まらないうちから、いろいろある。一度仕組みが出来ると、変化することが怖いという。波風を立てたくないというのが本音。私もリーマンショックの当時、戻って10年ほど経って来たので、そう



新滝氏

2〜3年であること、長期的にはどうなるかというのを思ふ。
2008〜2009年、自分の力でやるべきことは、宿泊単価を上げる。そして、金融機関の金利を下げてもらう努力も必要

2〜3年であること、長期的にはどうなるかというのを思ふ。
2008〜2009年、自分の力でやるべきことは、宿泊単価を上げる。そして、金融機関の金利を下げてもらう努力も必要

われているが、あまり比率を上げると怖いこともある。戦争、政変、インフルエンザなどの病気や為替の変動など、我々の力ではどうにもならない要因がある。うちの場合、2割以内

日本の観光を考えると、今が最悪の時期で、これからの展望は明るいと思ふ。
企業は人なりという。経営環境は厳しいが、逆に言うと、今は優秀な人材を確保しやすい状況にある。従業員の給与について、旅館はほかの業種に比べると、必ずしも高くない。うちは低いかもしれないが、増やしていく努力が必要だ。

われているが、あまり比率を上げると怖いこともある。戦争、政変、インフルエンザなどの病気や為替の変動など、我々の力ではどうにもならない要因がある。うちの場合、2割以内

日本の歴史、文化、食は、世界に冠たる素晴らしいもの。日本の観光産業の未来は明るいと思ふ。我々旅館業は、施設、料理、サービスという、極めて基本的なものをしっかりやっていくことだ。その一点を愚直にやることだ。

抑えたいと思っている。
浅野 ハワイで日本の日本海側に行くと「裏日本」(笑)。でも、結構売れている。阿賀野川や最上川の舟下りも香港で人気だ。我々の知らないところでゴールデンドールでない日本が受けて

成功事例を見て考える
新谷

新谷 これから先、どう行動を起こしていけば、多くの人々が悩んでいると思ふ。
成功事例も含めて、どんどん自分の目で見て、いろいろ聞き、そして自分の頭で考えて、本当に自分で切り開いていくしか手はないような気がする。

成功事例も含めて、どんどん自分の目で見て、いろいろ聞き、そして自分の頭で考えて、本当に自分で切り開いていくしか手はないような気がする。

風呂があったり料理があったり、サービスがいいのは当たり前。お客さまは「私をどうやって楽しませてくれるのか」というサービスを求めている。そのサービスを作るのがインベシジョンだ。
私のところではバスを持っていて、お客さまの自宅と旅館の間をドア・トゥ・ドアで、東京なら計4万円台で売っている。

こうして東京に出てきて、いろいろな人の話を聞くのも大切だ。経費削減で、出張も容易にできないのも分かるが、本当に井の中の蛙になつてしまえば、打開策をなかなか見いだせなくなってしまう。
齊藤さんが言われたように、着地型のオプションを充実させることもひとつ。うちも高山リゾートツアーという旅行業を立ち上げ、オプションのツアーを充実させているところだ。

齊藤さんが言われたように、着地型のオプションを充実させることもひとつ。うちも高山リゾートツアーという旅行業を立ち上げ、オプションのツアーを充実させているところだ。



新谷氏

本年も変わらぬご支援、ご協力を
心からお願ひ申し上げます。

謹賀新年

| | |
|------|--------|
| 名誉会長 | 田川 博己 |
| 会長 | 小田 禎彦 |
| 副会長 | 高橋 威男 |
| 副会長 | 大西 雅之 |
| 副会長 | 久保田 浩基 |
| 副会長 | 福田 朋英 |
| 副会長 | 渡邊 幸一 |
| 副会長 | 中田 力 |
| 副会長 | 西田 友行 |

お客様と旅の拠点をネットワーク
JTB協定旅館ホテル連盟